

工事説明書 天井埋込形換気扇

浴室用/トイレ用/洗面所用

品番	ルーバー、吸込グリル同梱 / 2室用
	FY-24CPKS8V
	ルーバー、吸込グリル同梱 / 2~3室用
	FY-24CTS8V FY-24CTUS8V

工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。

特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。

・工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害
や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で
説明しています。(次は図記号の例です)

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

お守りいただく内容 してはいけない内容です。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

実行しなければ ならない内容です。

警告



仕様変更・改造は絶対にしない
火災・感電・けがの原因になります。

分解禁止



内釜式風呂を設置した浴室に取り付け
ない
排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。

禁止



D種接地工事をおこな
う
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

アース線接続



交流100ボルトで使用する
火災・感電の原因になります。

メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける
漏電した場合、火災の原因になります。

注意



炎があたるおそれのある場所には取り付け
ない
着火して火災となるおそれがあります。

禁止

浴室内に電源スイッチを設け
ない
湿気により、感電することがあります。



本体は、十分強度のあるところにしっかり取り
付け、
強度不足の場合には補強
する
落下により、けがをするおそれがあります。

注意



配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、必ず電気工事が確実に
おこなう
誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。

部品は確実に取り付ける
落下により、けがをするおそれがあります。

本体は指定の方法で確実に取り付ける
落下により、けがをするおそれがあります。

取り付けの際は必ず手袋を着用
する
けがの原因になります。

お願い

■傾斜のある天井面には取り付け
ないでください。
シャッター開閉不良や結露水逆流の
原因になります。

■台所など、油煙の発生する場所や
有機溶剤がかかる場所には取り付
けないでください。
部品の破損の原因になります。

■高温になる場所(周囲温度40℃
以上)には取り付けないでください。
製品の変形やモーターの寿命を縮めます。

■浴室など湿気の多い場所では水滴が
製品から落下することがあります。
取り付けは不快にならない場所をお選
びください。

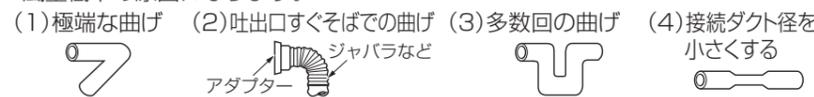
■点検口を設けてください。
保守点検ができない場合があります。

■給気口を設けてください。
効果的な換気ができません。

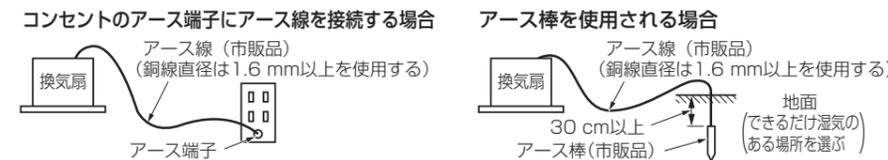
■温泉や殺菌用塩素を使用する公衆浴
場などには取り付けないでください。
故障の原因になります。

■浴室と他の部屋に取り付ける場合は、
換気扇本体を浴室に取り付けてくだ
さい。
本体からの結露水落下の原因になります。

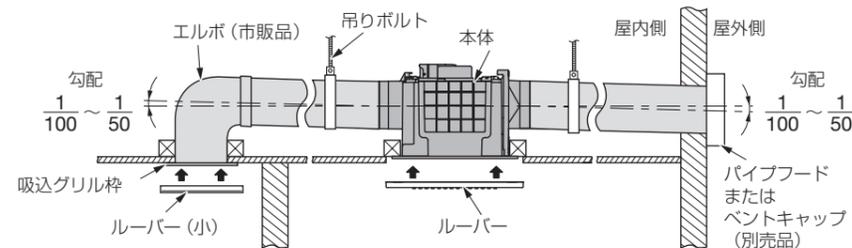
■次のような配管工事はしないでください。
風量低下の原因になります。



■アース工事をする場合は次のいずれかの方法でおこなってください。
他の方法でおこなうと接地が十分でない場合があります。



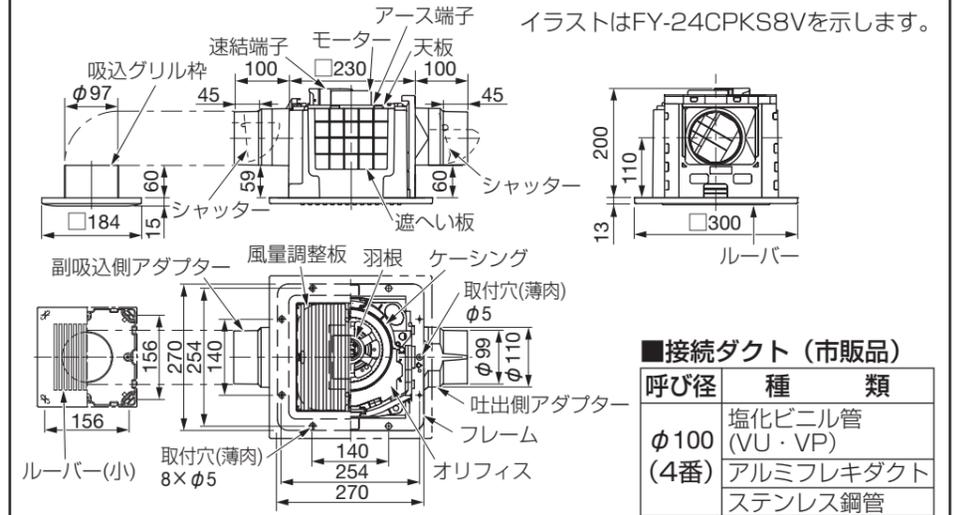
取付参考図



■ダクトは本体に力がかからないように、天井より吊り下げてください。
■ダクトは必ず屋外側に下り勾配を設けてください。雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。

各部の名前と寸法

単位: mm



■接続ダクト(市販品)

呼び径	種類
φ100 (4番)	塩化ビニル管(VU・VP)
	アルミフレキシダクト
	ステンレス鋼管

■付属品 末尾の数字は数量をあらわします。

●FY-24CPKS8V(2室用)

タッピングねじ	6
(アダプター、フレーム固定用)	
タッピングねじ	4
(吸込グリル取り付け用)	
ルーバー	1
パッキン	1
(吸込グリル取り付け用)	
吸込グリル	1
取扱説明書	1
(必ずお客様にお渡しください)	

●FY-24CTS8V, FY-24CTUS8V(2~3室用)

タッピングねじ	7
(アダプター、フレーム固定用)	
タッピングねじ	8
(吸込グリル取り付け用)	
ルーバー	1
パッキン	2
(吸込グリル取り付け用)	
吸込グリル	2
遮へい板	1
取扱説明書	1
(必ずお客様にお渡しください)	

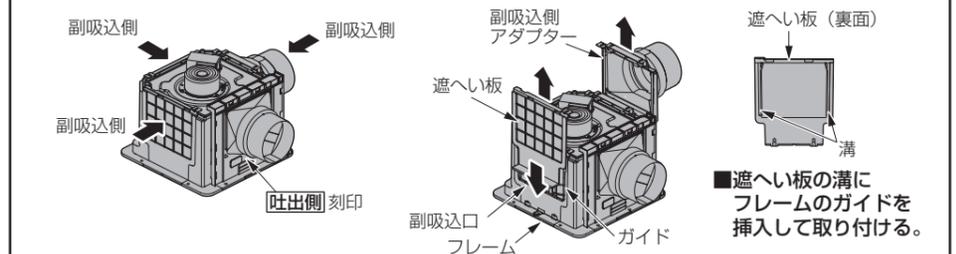
【お願い】 この製品専用の付属品あるいは指定のもの(別売品)以外は使用しないでください。

施工方法 以下の手順に従って施工してください。

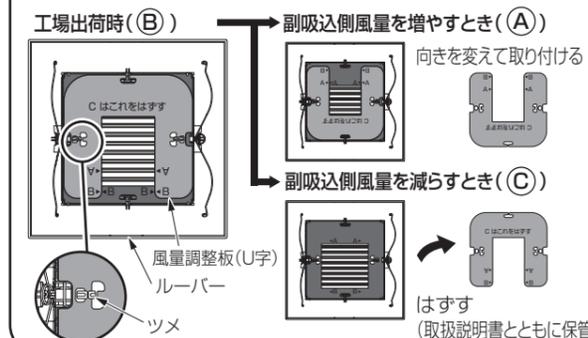
取り付けかた イラストはFY-24CPKS8Vを示します。

取り付け前の準備

①部屋の位置により吐出方向(吐出側刻印)に対して副吸込方向を(1か所(3室用は2か所))
決め、不要な副吸込口に遮へい板を付け換える。(副吸込側アダプターははずしておく)



②風量を調整する場合は、風量調整板(U字)をルーバーからはずし、位置を変えてツメ
に差し込む。工場出荷時は(B)にセットしてあります。



■風量比の目安

●2室換気の場合

	(A)	(B)	(C)
本体側	68	75	82
副吸込側	32	25	18

●3室換気の場合

	(A)	(B)	(C)
本体側	54	60	74
副吸込1側	23	20	13
副吸込2側	23	20	13

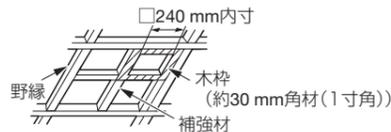
※上記風量比は、副吸込1側と副吸込2側のダクト抵抗が同一の場合での目安です。

1-a 本体の取り付けと電源の接続 (野縁を使用する場合)

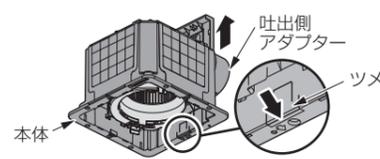
※野縁施工で強度が保てない場合には、「吊りボルトを使用する場合」を参考に吊りボルトを併用して取り付けてください。

①木枠を作り、野縁に取り付ける。

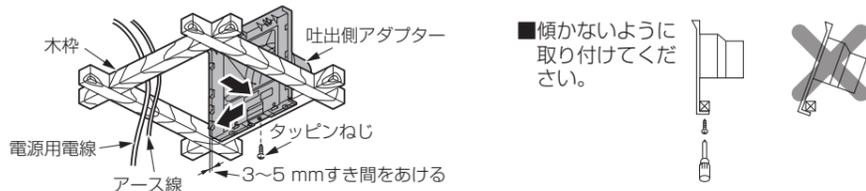
■木枠には補強材を設けるなど十分に強度を持たせてください。



②ツメを矢印方向に押しながら、吐出側アダプターを本体からはずす。



③吐出側アダプターを矢印の方向に木枠に合わせて付属のタッピンねじ(1個)で取り付け、電源用電線(市販品: VVFケーブルφ1.6またはφ2.0)およびアース線を木枠内に引き込む。

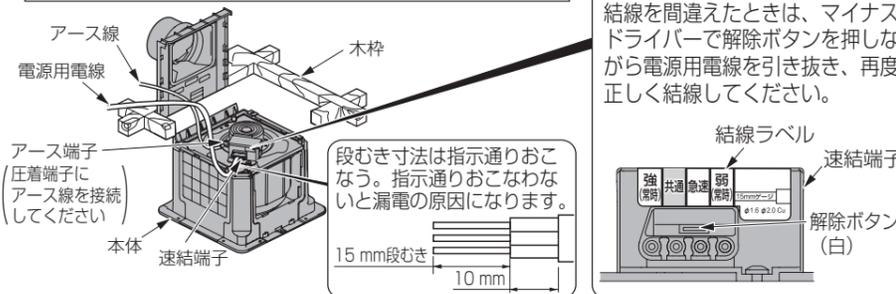


■傾かないように取り付けてください。

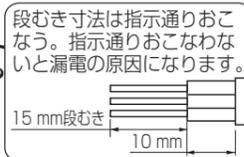
④速結端子に電源用電線の心線がとまるまで差し込む。(結線ラベルを参照してください)アース線をアース端子に接続する。

■電源用電線を少し引っ張り確実に接続されていることを確認してください。

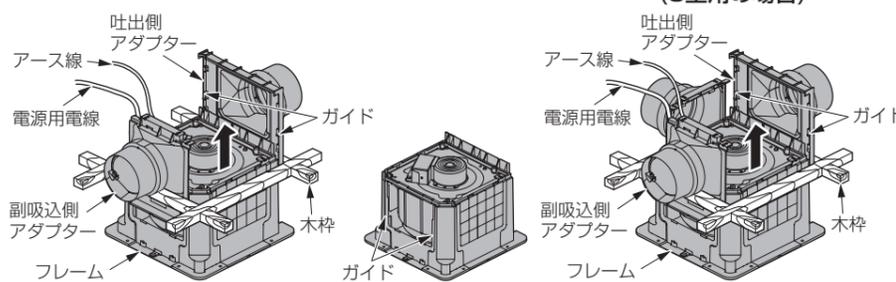
アース線と電源用電線は、400mm以上たるませる。たるませないと、本体の取りはずしができなくなります。



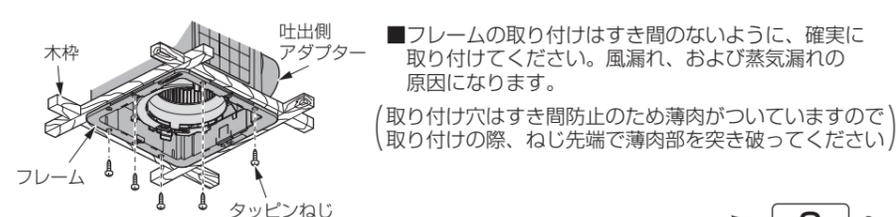
結線を間違えたときは、マイナスドライバーで解除ボタンを押しながら電源用電線を引き抜き、再度正しく結線してください。



⑤副吸込側アダプター(1個(3室用は2個))を木枠に収め、フレームを吐出側アダプターのガイドに確実に引っ掛け、フレームのガイドを副吸込側アダプターの溝に引っ掛け、密着させながら木枠に挿入する。(3室用の場合)



⑥フレームを付属のタッピンねじ(4個)で取り付ける。次に、副吸込側アダプター(1個(3室用は2個))を付属のタッピンねじ(1個(3室用は2個))でねじ止める。



■フレームの取り付けはすき間のないように、確実に取り付けてください。風漏れ、および蒸気漏れの原因になります。

(取り付け穴はすき間防止のため薄肉がついていますので)取り付けの際、ねじ先端で薄肉部を突き破ってください)



吊りボルトを使用する場合

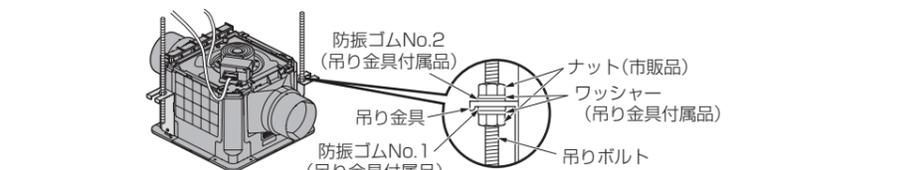
①フレームのガイドに副吸込側アダプターの溝を挿入して取り付ける。



②吊り金具FY-KB061(別売品)をねじ(2個 吊り金具付属)で取り付ける。



③吊り金具を吊りボルト(市販品: M8~M10)に取り付ける。



1-b 本体の取り付け (ユニットバス利用の場合)

ユニットバス付属の説明書に従って取り付けてください。(電源の接続は「本体の取り付けと電源の接続(野縁を使用する場合)」を参考にしてください)



2 ダクトの接続と天井材の貼り付け

①ダクト(市販品)を各アダプターに差し込み、市販のテープまたはコーキング剤で確実に密封する。

■風漏れや水漏れの原因になります。
■アダプターに力が加からないようにダクトを接続してください。
アダプターが変形し、シャッター開閉不良になることがあります。



③外壁面には、パイプフード(別売品)またはベントキャップ(別売品)を取り付ける。

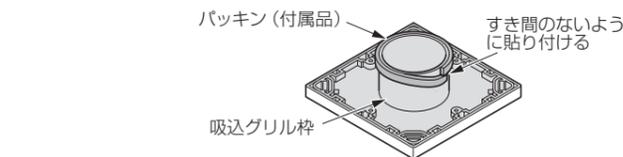
■パイプフードまたはベントキャップの施工方法は、それぞれの工事説明書をお読みください。



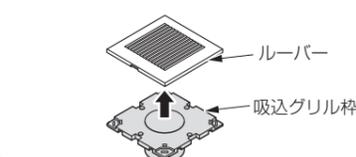
3 吸込グリルの取り付け

①吸込グリル枠と接続ダクトのすき間をなくすため、下図を参考に、付属のパッキンを吸込グリル枠に貼り付ける。

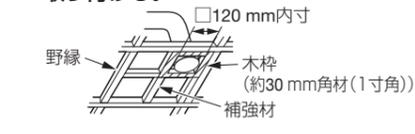
(吸込グリル枠とダクトを接続テープで固定する場合は不要です)



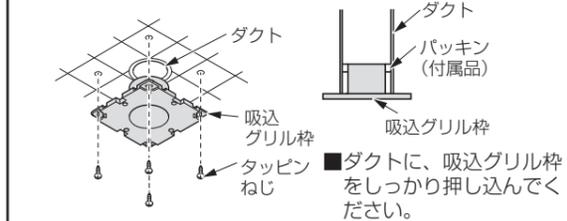
②ルーバーを吸込グリル枠から取りはずす。



③パイプの外周に木枠を作り野縁に取り付ける。

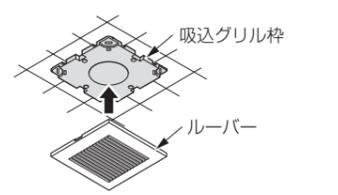


④天井板を貼り付け吸込グリル枠をパイプに挿入し付属のタッピンねじ(4個)で取り付ける。



■ダクトに、吸込グリル枠をしっかり押し込んでください。

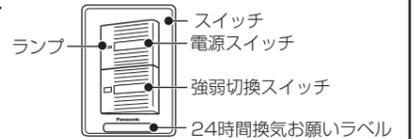
⑤ルーバーを押し上げて吸込グリル枠に取り付ける。



4 スイッチ(別売品)の接続

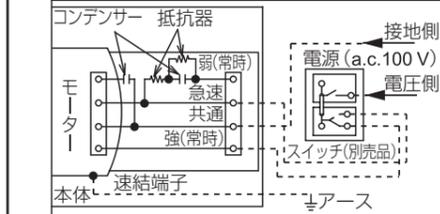
①結線図に従って正しく結線する。(スイッチへの接続方法は、スイッチに付属の工事説明書をお読みください)

②換気扇を常時換気で使用する場合は、スイッチに付属の「24時間換気お願いラベル」をスイッチまたはスイッチの近くに貼る。(FY-SV12W、FY-SV26Wの場合)



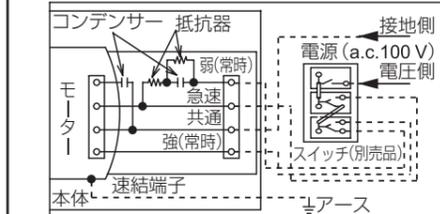
■結線図

2速使用の場合



●スイッチを使用する場合、FY-SV12W、FY-SV12WC(別売品)をご使用ください。市販のパイロットランプ付の電源スイッチには、消費電力10W以下の製品ではパイロットランプが点灯しないものがあります。
●上記結線図は、常時風量を強にする場合の結線です。部屋の大きさに応じて常時風量を決めてください。

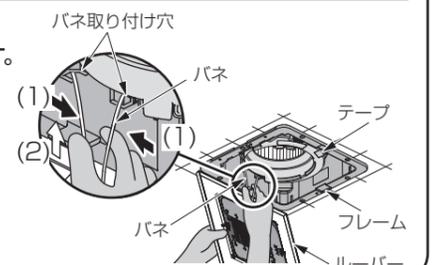
3速使用の場合



●スイッチを使用する場合、FY-SV26W、FY-SV26WC(別売品)をご使用ください。市販のパイロットランプ付の電源スイッチには、消費電力10W以下の製品ではパイロットランプが点灯しないものがあります。

5 試運転とルーバーの取り付け

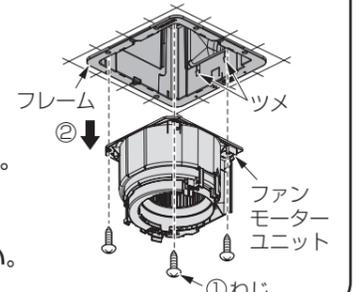
- ①結線や取り付けに異常がないか確認する。
- ②オリフィスに貼り付けられているテープをはがす。
- ③スイッチを操作して換気扇の動作を確認する。
※スイッチで換気扇の風量が切りかわらないときは誤結線の可能性があります。もう一度結線をご確認ください。
- ④ルーバーのパネをつまんで、パネ取り付け穴に差し込んで固定する。



天井材貼り付け後に結線する場合

- (1) 本体がはずせる場合
本体をはずして結線してください。
- (2) 本体がはずせない場合
以下の手順に従ってファンモーターユニットをはずして結線してください。

- ①ファンモーターユニット固定用のねじ(3個)を取りはずす。
 - ②フレーム内側のツメ(2か所)を押さえ、ファンモーターユニットを下側に引き出す。
- ※組み立ては取りはずしの逆の順序で確実に固定してください。



パナソニック株式会社

パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番 TEL(0568)81-1511

© Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2020